

日本語教師支援事業

日本人青年によるロシア側コミュニティにおける交流を図り、ロシアで高まっている日本語学習需要に応えるためにはじめられた事業で、日露青年交流の一環としてロシアの教育機関と日本語教師との仲介や支援を行っています。1999年は100名を超える応募者の中から平成11年度は11名の講師が、ロシア各地の以下の11の教育機関へ赴くことになりました。

従来より日本語教育の盛んな大学をはじめとして、設立されたばかりの夜間大学や専門学校まで、日本語を学ぶ人、層はさまざまですが、その旺盛な学習意欲に応えるべく授業に取り組んでいます。また、日本語を教えるのみならず日本の文化を紹介するなど、現地の若者との交流も期待されています。平成12年度もこの支援事業を継続します。

1999年の選考の状況をお知らせすると

日本語教授法を学んだ経験(大学の主専攻・副専攻、日本語教育能力検定試験合格者、日本語教師養成講座修了者)の有無、日本語教授経験などの確認

ロシア語能力審査

教師としての適性

一般常識等を総合的に審査しました。

派遣教育機関一覧

| |
|---------------------|
| ■ウラル国立大学 |
| ■ピャチゴルスク言語大学 |
| ■サンクトペテルブルグ国立大学 |
| ■ロシア国立教育大学 |
| ■東洋大学 |
| ■極東国立総合大学付属国際関係大学 |
| ■ウラジオストク国立経済サービス大学 |
| ■東洋語学校(ウラジオストク) |
| ■極東外国語大学 |
| ■ハバロフスク国立工科大学 |
| ■ユジノサハリンスク経済法律情報学大学 |
| ■モスクワ大学 |
| ■サンクトペテルブルグ国立文化大学 |



中間報告会 2000年1月31日～2月3日の模様
 (写真をクリックすると、各教師のコメントにジャンプします。)



猪狩 英美【ウラジオストク国立経済サービス大学】

本大学では日本語のコースが始まってまだ4年足らずですが、当地における日本への関心は高くこれからも学習者数は増えていくのではないかと思います。そんな中で、ネイティブ教師の責任の重さをひしひしと感じながら試行錯誤の毎日を送っております。

楽しいのは学生とのパーティ！！手作りのピロシキは最高ですよ。



石川 綾子【(ウラジオストク)東洋語学校】

東洋大学校は、ウラジオストク市郊外の保養地にある、小さな学校です。手からえさを食べるリスや美しい草木に囲まれ、子供達はのびのびと学習しています。

私は1年生から11年生までに日本語を教えていました。少々騒がしかったですが、子供達の笑顔はとても素晴らしいです。



佐藤 賢子【ウラル国立大学】

エカテリンブルグが外国人に開放されて10年、ウラル大学で日本語教育がはじまって6年、だんだん環境が整いつつある状態です。学生達は第二外国語として日本語を勉強しています。

毎年秋に学科の創立記念日で日本語劇を発表したり、日本に関する学年論文を書いたり、日本語と日本に関する知識をどんどん吸収して行っています。



副島 健作【(サハリン)ユジノサハリンスク経済法律情報学大学】

私が赴任した大学では、学生達は日本語と英語の両言語を専攻して、毎日一生懸命勉強しています。日本語に一番近い外国の一つであるサハリンで、日本語教師熱はますます高まりつつあります。



高橋 知也【(ウラジオストク)極東国立総合大学付属国際関係大学】

極東国立大学は極東ロシア有数の高等教育機関であり、100年以上にわたる歴史があります。しかし、国際大学で日本語教育が始められたのは、5年程前に過ぎません。学生達は日本語を第2外国語として熱心に学習しています。機知に飛んだ彼らの熱意に応えるため、授業に手抜きは許されません。



堀川 有美【(サントペテルブルグ)ゲルツェン名称 ロシア国立教育大学、サントペテルブルグ国立分化大学、東洋大学】

3大学で初級から中上級までの会話クラスを担当しています。大学のタイプ、雰囲気がそれぞれ違って、一口に「ロシアの大学」といっても色々だということを実感しました。

日本語を勉強している学生も様々で、彼らと一緒に勉強するのは、とても新鮮です。

内藤 勝【(コーカサス)ピャチゴルスク国立言語大学】



南ロシア北コーカサス、スタヴロポリ州にあるピャチゴルスク国立言語大学に日本語教師として派遣され、当大学の追加教育プログラムに所属する日本語講座で日本語の指導に当たっています。現在ロシア歴は約4年、日本語教師歴も約4年です。現在のところ、この地方において、唯一の日本人となっています。
